

一般質問



望まれる給食無料化

人口減少対策
質問 危機感が全くない。26年後
 渋川市は約5万1692人に激減
 する。人口減少対策は即実施すべ
 き。歯止めとなる具体策は。
市長 喫緊の課題として様々な分
 野で取り組んでおり、今後はイン
 ターチェンジを核にした企業誘致
 と若者の雇用確保にも対応したい。
定住促進策の実現



渋川の将来像

平方 嗣世 議員

住宅取得した場合100万円助成

等実現に向けた検討を行う考えは。

市長 給食費無料化は財源の問題
 等があります。また、個人への補
 助金は市民の皆さんの理解を得ら
 れるかどうかであるが、若い人た
 ちが地域で子育てしやすい施策が
 重要であり、できることから一つ
 一つ前向きに取り組んでいきたい。
総合計画を見直し財源確保を

質問 平成25年度決算は実質単年
 度収支8億1200万円、基礎的
 財政収支16億7600万円と共に
 大幅赤字。新規事業に合併特例債
 を多発した結果である。これが市
 長の実績。不急、優先度、緊急度
 を含め総合計画を見直す考えは。

総務部長 大型事業は、一部、縮
 減、先送りなどの調整をし、実施
 の再調整や基礎的な考え方の整理
 を行って、後期5年間で着工とな
 るものが多い状況であるため、合
 併特例債を活用する関係で地方債
 の借入額が増加してきています。
 合併特例債は、慎重を期して活用
 を図っていきます。



市民の幸福は

須田 勝 議員

家族は

質問 平成25年度の市統計による
 世帯人員は1世帯2・6人、少人
 数家族対策として、婚活支援事業
 の拡大と結婚祝金制度は。

保健福祉部長 未婚者の出会いの
 場の提供を行う団体に補助金を交
 付するとともに、活動に対する支
 援を引き続き行っていきます。祝
 金制度の考えはありません。

集落は

質問 市全体ともいえる各地域に
 子どもがいない。現状をどう捉え
 るのか、対策として出産祝金支給
 制度の復活など抜本的改革を。

保健福祉部長 保育料の第3子以
 降の無料化対象の拡大を図ったこ
 とから、現段階では祝金支給は考
 えていません。

質問 住める空き家は賃貸、売買
 を行う業者の活用を。住めない空
 き家は解体業者との連携、他の自
 治体を参考に解体に向けた研究を
 することのこと、どうするのか。ま
 た空き家対策課設置の考えは。
建設部長 民間のノウハウを活用



終活の準備

した対策は有効なので、意見交換
 を行うなど取り組みを進めます。
総務部長 解体を含めた課題を整
 理し、その方策を検討します。
市長 担当課の検討を行います。
終活は
質問 誰も人生に終止符を迎える
 日が必ず来る。その時がいつ来て
 も安心して迎えらるる準備の対策
 や指導は。
保健福祉部長 誰もが気軽に相談
 でき解決が図られるよう、身近な
 相談窓口の充実、支援体制の構築
 を図ります。



小中学校再編統合の推進状況

南雲 鋭一 議員

質問 本年4月に上白井小学校と中郷小学校が再編統合した。

南雲小と津久田小、刀川小と三原田小との再編統合はどのような状況にあるのか。

【学校教育部長】 南雲小、津久田小、三原田小の各地区委員会では統合の方針に合意し、報告書を提出する準備を進めています。刀川小は地区委員会が統合の方向で検討することの是非について、関係者にアンケートを実施します。

学校給食共同調理場整備



新設の共同調理場

質問 洪川市南部・北部学校給食共同調理場は8月にスタートした。旧国保赤城診療所跡地に建設予定の共同調理場計画は、どのようなになっているのか。

【学校教育部長】 当初は南部・北部調理場の稼働の翌年度に稼働させる予定でしたが、総合計画の見直し作業の中で、本市の財政状況への配慮や合併特例債の期間延長などを受けて、当初予定より先送りすることとなりました。

(仮称)自治基本条例と自治会

質問 平成24年9月定例会の一般質問から2年が経過。制定に向けての市の検討状況を知りたい。

また市行政の一部を受け持つ自治会を地域行政の推進者として、市はどのように考えているか。

【市長】 基本理念や市民、議会、行政の役割等を体系的に整理するため検討を行っており、引き続き課題の整理等進めていきたい。

行政と自治会、自主防災組織の連携は重要です。支援も十分検討しながら進めていきたい。



人口減少対策について

篠田 徳壽 議員

質問 若者に魅力のある地域拠点都市として、コンパクトな拠点とネットワークの形成、自治体間の地域連携、駅周辺の整備などが考えられる。新たな集積構造の構築に向けた対応は。

【企画部長】 古巻地区や行幸田地区は、バイパス整備により交通便利性の拡大が見込まれる。社会情勢の変化と動向を捉え、まちづくりを推進したい。

質問 生活基盤安定のために、雇用の創出や地域支援など、地域や企業、各種団体などと連携し、魅力ある地域と生活基盤の安定に向けた情報の共有が必要だ。連携強化に向けた対応は。

【商工観光部長】 これまで市内企業と情報交換や要望把握をしてきたが、今後は各種団体と連携強化し、雇用創出につながるよう企業の活性化に向けた支援策を研究します。

給食残渣のたい肥化について

質問 給食残渣は焼却処分されているが、たい肥化による資源の循環化や情操教育の場として、小中

学校の花壇や選別農薬農法による実証圃での活用についての考えは。

市有墓地の整備について

【市長】 給食残渣のたい肥化は重要な施策です。さらなる研究や検討を進めたいと考えます。

質問 人口減少社会で、定住者を増やすには市有墓地の確保は必要。伊香保町の市有墓地の今後の整備と新たな市有墓地の確保は。

【市長】 伊香保の市有墓地に27区画分を拡張する検討を進め、整備終了後、適地を選定しながら取り組んでいきます。



整備が進む高渋バイパス